

### 1 自己評価及び第三者評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2870600265		
法人名	株式会社ライフサポートジャパン		
事業所名	ゆうとび庵 西神戸		
所在地	兵庫県神戸市長田区長尾町2丁目13-14		
自己評価作成日	平成26年6月25日	評価結果市町村受理日	平成26年9月11日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/28/">http://www.kaigokensaku.jp/28/</a>
----------	---

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 H.R.コーポレーション		
所在地	兵庫県西宮市松風町2-5-107		
訪問調査日	平成26年7月8日		

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「より良い介護」「感動ある介護」を理念とし、全職員にて理念を理解しながら、実現に向けて精進しております。開設14年を迎えますが、開設当初からの職員も多く勤務しており、「同じ職員に、長く関わりを持って欲しい」と言われるご家族様のご要望にもお答え出来ていると思います。お花見や夏祭り等の年間行事、お食事会や馴染みのあるお店へのお買い物、日常生活でのレクリエーション等、入居者様に楽しみを感じて頂きながら支援をさせて頂いております。医療体制に関しては、主治医といつでも連絡を取れる体制であり、ご家族様と主治医が直接連絡が取れる体制もあります。職員のスキルアップの為、年間研修計画を作成し「高齢者虐待防止・身体拘束廃止」「消防訓練・非常時災害避難訓練」「認知症について」等を行い、介護のプロとしての意欲・知識・技術向上に努めております。認知症に関しての介護相談やAED機器(自動対外除細動器)を設置しており、地域資源として近隣の方に活用して頂ければと思っております。社宅改装型ですが、すみ慣れた「我が家」のように、快適に過ごして頂け、また、ご利用者様・ご家族様・地域の皆様に信頼して頂けるゆうとび庵を目指し、職員一同、心を込めてケアに努めさせて頂いております。

#### 【第三者評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

開設当初からの職員と共に、理念を実践につなげ自立を目指したケアの実践に努めている。施設は地域に溶け込み、利用者の体調や希望に応じて職員と一緒に地域の馴染みの喫茶店や買い物に出かけ、継続的に地域とのつながりを持つように支援している。地域で開催される集まりの際には、24時間AEDを使用できる体制が整えられていること説明し、地域への貢献が行えるようにしている。介護に関する内容で講師派遣の呼びかけがあり事業所の機能を地域へ還元すると共に理解を深めてもらう機会が増えている。かかりつけ医は毎日来訪され、利用者は計画的な診察をうけるほか、疾患・健康状態に変化があれば、医師にいつでも相談できる体制が整備されている。普段の会話の中で思いや意向を訴えやすいように雰囲気づくりやコミュニケーションを持つように努め、職員間で情報共有を図り支援につなげている。

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

### 自己評価および第三者評価結果

自己	第三者	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を共有すると共に、理念を基にしたケアを実践していくように努めております。また、より良い理念を構築する為にも、理念の見直しを実施している。	運営理念を基にケアの現場で活かしやすいように具体的な内容を話し合い共有して実践につなげている。研修中の「理念について学ぶ」として職員間で話し合う機会を持ち理解を深めるように努めている。さらに、日々行っているケアの実践について振り返り、実践がどのように理念につながっているのかも職員間で話し合いを持ち理解を深めている。	研修の機会に理念の理解と浸透を図るために話し合った内容を記録として残し、常に理念を基に原点に立ち戻る機会を持っていることを残すことが望まれる。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	馴染みのある喫茶店やお店にお買い物に出掛けたり、地域の清掃などに参加する事により地域の一員として日常的に交流している。ゆうとび庵での消防訓練や夏祭り等、行事への参加のご案内もさせて頂いております。	利用者の体調や希望に応じて職員と一緒に地域の馴染みの喫茶店や買い物に出かけ、継続的に地域とのつながりを持つように支援している。地域の清掃活動にも参加できる利用者と共に参加を継続している。AEDの設置を行っており、地域で開催される集まりの際には、24時間AEDを使用できる体制が整えられていること説明し、地域への貢献が行えるようにしている。事業所での消防訓練や夏祭りなどにも近隣の住民の参加呼びかけを行っている。2ヶ月に1回地域の集まりで介護に関する内容で講師派遣や参加呼びかけがあり事業所の機能を地域へ還元すると共に理解を深めてもらう機会が増えている。地域のボランティアの来訪も定着しており、利用者と共に交流の機会を継続できている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	介護相談窓口や地域の会合での介護相談、AED機器の設置等、地域の方との関わりを持ちながら、地域資源として活用して頂けるように発信している。		

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回、年6回、定期的に開催し、当庵での運営報告をさせて頂き、ご相談やご意見等あれば、対応させて頂き、サービス向上に努めております。より多くのご家族様に参加して頂けるようにも努めております。	地域包括支援センター職員、民生委員、知見を有する方(他のグループホームの管理者)、家族代表者に出席してもらい2ヶ月に1回定期的に開催している。会議では行事報告、活動報告と予定、利用者の状況報告を行っている。参加メンバーの民生委員の方から地域で暮らす高齢者の事例提示検討を行うこともあり、会議を生かして地域とのつながりを持ちながら暮らし続けることができる支援に活かしている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市・町の担当者へは、運営推進会議の報告、各種会合や研修にも参加させて頂き、担当者とは、お互いに相談出来る関係を構築している。	職員が認知症早期発見システムのメンバーになっており、市町村との共同を図っている。市には運営推進会議の内容を報告して、事業所の課題や利用者の状況により相談を行うようにしている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	年間研修計画を作成し、年2回以上、身体拘束廃止に向けて内部研修を行っている。研修には、全職員参加しており、正しい知識を学び、理解を深めるように努めている。	日々支援する中で拘束や虐待に繋がりそうなことはないか自己チェック表で振り返るようにしている。年2回法人で実施される「高齢者虐待防止・身体拘束廃止」の研修が継続されており、全職員が受講し理解を深め実践につなげるように努めている。身体拘束・虐待について学ぶ機会を持つ中でも理念に基づいて実践へつなげ支援を行っていることを学ぶと共に、理念に基づいた支援が虐待防止や身体拘束をしないケアにつながることで職員は理解している。身体拘束廃止や虐待防止について毎年学び、積み重ねることで質向上に活かすように取り組んでいる。利用者の行動を制止するような言葉かけや対応が少なくなってきたり、日々のケアの中で拘束につながりそうな支援があれば職員間で声かけ・注意をしあうだけでなく、利用者の自由な暮らしを支援するように検討が行われている。		

自己	者 第三	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7	(6)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年間研修計画を作成し、年2回以上、高齢者虐待防止に向けて、全職員参加にて内部研修を行っている。どのような事が虐待にあたるかを学び、会社全体で防止に取り組んでいる、	身体拘束廃止について学ぶ機会に虐待防止について一緒に学び理解を深めるように取り組んでいる。日々の支援で何が虐待につながるのか全職員で常に気を付け利用者が気持ちよく生活できるように話し合いを繰り返し行い支援するようにしている。	
8	(7)	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護マニュアルを作成しており、職員が閲覧出来るようにしている。内部・外部研修を活用し、正しく学ぶ機会を設けると共に、相談等があれば対応させて頂くようにしている。	権利擁護については計画的な研修の中で学ぶ機会をもち、全職員で理解を深めるように取り組んでいる。権利擁護と成年後見制度についてのマニュアルを作成しており、職員がマニュアルを見て確認して必要な利用者があれば支援できるように努めている。利用開始前に制度を利用していることが多いが、利用開始後に家族からの相談や制度利用の必要性があれば、制度活用が円滑に進めることができるよう関係機関へ取り次ぐようにしている。	
9	(8)	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結・解約・改定に関しては、時間を掛けてご説明させて頂いている。ご利用者様・ご家族様が不安や疑問があれば、その都度ご説明をさせて頂き、ご理解と納得をして頂いたうえでやっている。	利用希望者が、見学に来訪された時から契約書・重要事項説明書の内容に触れて話をを行い、理解と納得を得て契約に至るように支援している。利用希望から利用開始までの期間にも連絡を取り、疑問や質問がないか確認を取り、利用開始までに理解を深めるようにも配慮している。契約書・重要事項説明書の内容に変更が生じた時には、変更内容について説明を行い理解を得るようにしている。契約時より利用可能な状態や状況については説明を行い、利用者の段階に応じて相談し対応方法を検討すること、利用料金・費用については特に説明を加えて行い理解を得るようにしている。	

自己	第三者	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(9)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者様からは、会話の中から要望等を汲み取るように努めております。御家族様からは、ご来庵時や電話連絡等の際にお伺いさせて頂き、職員から管理者へ報告もあり、直接管理者がお伺いさせて頂く時もあります。管理者の携帯番号もお伝えしておりますので、直接電話をする事も可能です。	家族の面会があれば管理者は家族との話す機会をもち、利用者の状態や生活の様子を話し、意見や要望・希望などを聞き取るようにしている。管理者やリーダーが不在時に面会に来訪されたこと、職員が聞き取った意見や要望など報告されるようになってきている。ゆうとび庵通信と共に利用者個別の近況報告を家族に毎月送っている。	
11	(10)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	各種ミーティングに管理者は参加しており、職員の意見や要望を直接聞く機会を設け、反映出来るように努めております。また、意見や要望を伝えやすい環境も作れるように努力しております。	フロアーミーティング前には、各フロアーのリーダーが職員に話し合いたいテーマについて意見聴取し、会議で検討し意見の反映ができるようになってきている。各フロアーミーティングには、管理者も参加しており、直接職員からの意見や提案を聴取し反映させる機会となっている。マネージャーミーティングでは、各フロアーのリーダーと管理者が集まり事業所全体についての意見や提案を聴取し検討・反映させる機会となっている。会議で職員から出された意見や提案を効率的に話し合い、サービスや運営に反映させることができるよう取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の状況等を把握し、福利厚生の実、各種研修への参加等、知識や意欲等、向上心を持って勤務してもらえるように努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の状況に合わせ、内部・外部研修に参加し、福祉に関する知識や技術を学び、ステップアップ出来る環境作りに努めております。		

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14			○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括センター主催の会合や研修、グループホーム専門部会等に参加し、同業者との交流や情報交換、サービスの向上等、同業者と共にサービスの向上に取り組んでおります。		
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15			○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様との面談回数を多くし、不安な事や要望等を汲み取り、安心して頂けるようにご説明をさせて頂いております。介護職員同行にて面談も行い、お互いの信頼関係を築いていけるように努めております。		
16			○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様との面談回数を多くし、要望や不安に思われている事等をお聞きし、安心、納得してサービスを受ける事が出来るようにご説明をさせて頂いております。		
17			○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様とご家族様が、今、何を必要とされているのかをご相談させて頂き、対応しております。また、入居に至らなくとも、継続してご相談させて頂いております。		
18			○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お互いが共感し、支え合い、共に助け合え、信頼し出来る関係を築くように心掛けている。		

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19			○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人様の状態を把握した上で、ご家族様、職員共に相談し、協力しながら支援を行っております。		
20	(11)		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居以前より通っていた馴染み場所(喫茶店・散髪屋・スーパー等)へ出掛ける等、関係を継続して頂けるように支援している。	開設当初から利用継続している方もおられ、利用開始後にできた馴染みの関係を継続できるように支援に努めている。住んでいた場所や周辺の馴染みの場所、懐かしい場所など、普段の会話の中から把握し希望に応じて出かけることができるように支援もしている。知人・友人の来訪があれば、関係が途切れないように努めている。	
21			○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様、個々の性格や状況を把握し、ご利用者様同士が関わりを持ちながら、良好な関係が保たれるように心掛けて支援を行っている。		
22			○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も、お見舞いに行かせて頂く等、サービスが終了しても関係を継続し、ご相談もさせて頂いております。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(12)		○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様との会話の中から、要望等を汲み取るように心掛け、受容、傾聴に努めております。また、困難な方へは、ご家族様とも相談し、ご本人様の立場で考えて支援させて頂くように努めております。	普段の会話の中で思いや意向を訴えやすいように雰囲気づくりやコミュニケーションを持つように努めている。出された言葉から思いや意向を聞き取り把握できた思いや意向・希望はフェースシートやアセスメントシートに記載し職員間で情報共有を図り支援につなげるようにしている。	自ら思いや意向・希望を訴えることができる時期に把握できた思いや意向・希望の変化が分かるような記録の工夫を行い今以上の、本人の視点に立った思いや意向・希望に沿った支援につなげる取り組みを期待する。

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24			○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様、ご家族様より、これまでの生活歴をお聞きし、把握した上で、日々のケアに努めております。		
25			○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご本人様の生活リズムや現在の状態等を把握し、ご自身のペースにて生活して頂けるように支援させて頂いております。		
26	(13)		○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様、ご家族様のご意見、ご要望を反映させた介護計画を作成しております。毎月のモニタリング、変化があれば介護計画の見直し等、現状に即した介護計画を作成しております。	希望や要望を反映させたアセスメントを行い介護計画を作成している。作成された計画に沿って毎月モニタリングを実施し利用者の変化があり見直しの必要性があれば、随時の見直しを実施している。フロアミーティングで利用者の状態の変化の有無やケアプランの実施状況の確認を行いモニタリングを実施している。	日々計画にそって実施された支援の実施状況・観察内容などを具体的に介護記録に残し、利用者への現状に即した更なる計画の充実を期待する。
27			○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎月、ケアカンファレンス、モニタリングを実施し、情報の共有やケアの統一を心掛けております。情報は、介護計画の見直しにも活用し、個別の記録も行っている。		
28			○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人様やご家族様のご希望に応じたサービスを提供出来るように努めております。状況に合わせた柔軟な対応が出来るように取り組んでおります。		



自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29			○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の喫茶店や美容院の利用、地域の催し物への参加、ボランティアの方に来て頂く等、楽しみを感じて頂きながら、地域の方との交流を持ち、認知症の方への理解を深めて頂けるように努めております。		
30	(14)		○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご利用者様、ご家族様の希望される医療機関を受診して頂き、納得して頂ける通院体制を整えております。	かかりつけ医は毎日来訪され、利用者は月2回の計画的な診察をうけるほか、疾患・健康状態に変化があれば、医師にいつでも相談できる体制が整備されている。必要に応じて往診体制も整えられている。他科受診や病院受診の指示を受け支援するようにしている。	
31			○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	主治医である医療機関の看護師と連携し、ご利用者様の状態等、ご相談やアドバイスを頂きながら対応しております。また、薬剤に関しても指導、相談を受けております。		
32	(15)		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご家族様、医療機関とは、ご利用者様の状態、状況等の把握の為、連携を取っております。また、ご本人様、ご家族様が安心して退院されるように、職員間での情報共有や連携も取るように努めております。	入院が必要な場合には、入院する医療機関を家族と相談し決めるようにしている。入院中は家族が中心に支援してもらうようにしているが、医療機関とは連携を図り、早期に退院に向けた支援ができるよう努めている。医療機関からの入院中の情報提供により事業所内で受け入れた制を整備し、早期に安心して退院してもらえるように支援している。	

自己	第三者	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(16)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に、重度化や終末期についてのご説明をさせて頂いております。入居者様の状況に合わせ、段階に応じてご説明をさせて頂いております。御家族様、かかりつけ医、職員とでチームケアにも取り組んでおります。	重度化・終末期に向けた支援については、契約時より「看取りに関する指針」「重度化した場合の対応に係る指針」の書面を持って利用者・家族に説明を行い、指針に沿って支援するようにしている。段階に応じて家族に説明を行い、不安なく継続的に必要な支援を受けることができるように支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	主治医や看護師の指導・アドバイスを受けると共に、緊急対応マニュアルを作成しております。また、全職員、市民救命士の講習を受けております。	/	
35	(17)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の消防訓練・非常時災害避難訓練を実施し、地域の方にも参加して頂き、協力体制を整えております。また、非常時マニュアルや非常時持ち出し袋等も準備し、備えております。	消防訓練、非常災害時の通報、避難誘導訓練を年2回実施している。参加可能な利用者には、消火訓練にも参加してもらい避難経路や誘導方法を確認している。地域の方にも訓練実施の案内を行い参加してもらい、理解と協力を得ることできるようにしている。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(18)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、配慮した声掛けを心掛けております。プライバシー保護に関する内部研修も行い、理解や知識を深めると共に、毎日の自己チェック表にて客観的な視点、第三者の視点で自身の声掛け・接遇を振り返る機会も設けております。	排泄や入浴などどこまでが見守りなのか、利用者の尊厳やプライバシーに配慮した支援とは何かを、繰り返し話し合い理解を深め支援するように努めている。 計画的な研修の中でもプライバシー保護や高齢者の尊厳について学び理解を深めるようにしている。また、虐待防止について学ぶ機会にも高齢者の尊厳やプライバシーについて触れて様々な研修の中で学び意識して支援に活かすように取り組んでいる。	

自己	者 第 三	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者様の思いや希望を傾聴し、自己決定が出来るような声掛けや雰囲気作りを心掛けると共に、本人の隠れたニーズ(思い)を汲み取っていく為、ご家族様との情報交換にも積極的に取り組んでいる。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	画一的なケアではなく、臨機応変にケアを実施出来るよう、一人ひとりのペースを大切に、ご利用者様の状況に沿った支援を行えるように心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご利用者様の好みを尊重し、おしゃれを楽しんで頂いております。また、一緒に相談しておしゃれを楽しむなど、その過程も楽しんで頂けるように支援しております。また、一緒に服を買いに外出もしている。		
40	(19)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	定期的で開催しているお食事会では、ご利用者様と相談しメニューを決定しております。ご利用者様・職員と一緒に準備をし、お食事を楽しんで頂いており、その様子をゆうとび庵通信にも掲載し、ご利用者様・ご家族様にもお伝えし、共通の話題となるよう配慮している。	大まかな食事の時間は決めているが、利用者の体調や希望・その日の気分に合わせて食事が摂れるように支援している。その日の献立により、嚥下や咀嚼状況に応じて刻みやミキサー食にして提供を行っている。毎月食事委員会を実施し、変更メニューの検討や食事会の開催について利用者の意見や嗜好等を活かしてメニューの決定を行っている。行事開催時には食事会を開催し、利用者メニューを相談し買い物・調理から利用者の機能と希望に応じて実施し、行事食を楽しめるようにしている。外出の機会に外食を楽しめるようにもしている。水分摂取も一日1500ml以上摂れるように支援し脱水予防に努めている。	

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41			○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ご利用者様の状態に合わせた食事形態(刻み食、ペースト食等)で提供しております。食事量・水分量の記録も行っており、栄養状態の把握にも努めております。		
42			○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアが歯科医・歯科衛生士の指導のもと、習慣化されており、ご利用者様に合った口腔ケアを実施し、口腔内の清掃保持に努めております。		
43	(20)		○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレの声掛け、誘導、PTイレの設置(夜間時・居室)により、尿意の喪失を防ぎ、おむつやパットに頼らない、自立に向けた支援を行っております。	一人一人の排泄のパターンや状況を把握し、声かけや誘導を行い、排泄の自立・トイレでの排泄が気持ちよくできるように支援している。できる限り布のパンツを使用するように努めている。リハビリパンツやパットを使用する際にも職員は尿意の消失につながることを認識しており、誘導や声かけを工夫し、リハビリパンツやパットの使用が最小限となるように常に検討し支援している。	
44			○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	自然な排便をして頂けるよう、散歩や適度な運動にて便秘の予防に努めている。食事、水分量にも気を付けております。		
45	(21)		○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	ご利用者様の要望に沿えるように、入浴日や入浴時間は決めておりません。その都度、柔軟に対応出来るように努めております。	入浴は回数や曜日・時間を決めずに希望に応じて入浴してもらえるように支援している。入浴を嫌がる方も週2回は入浴してもらい清潔が保てるように支援している。基本的には同性介助を行うようにし希望に沿って支援ができるようにしている。現在入浴可能な時間は、安全確保の面から13時～16時の間で実施している。	

自己	者	第三	項目	自己評価	外部評価	
				実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46			○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご利用者様一人ひとりの生活習慣を尊重し、ご自身のペースにて過ごして頂けるように支援しており、昼寝の時間を確保出来るように支援したり、安眠出来るよう音楽を流したりと個別ケアに努めている。		
47			○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医、看護師の指導のもと、薬剤管理を行っております。薬剤に関する相談・指導・助言も頂いております。また、薬剤師にも助言を受けられる体制にある。		
48			○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者様の生活歴を把握し、日常生活の中で、楽しみや役割を感じて頂けるような支援を心掛けております。馴染みのご利用者様同士で将棋をして頂いたり、カラオケを楽しんで頂いたり、料理に参加して頂いたり気分転換を図って頂いている。		
49	(22)		○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご利用者様のご希望により、外出する機会を多く設けるようにしております。(買物、喫茶店、ドライブ等)また、急な外出にも対応出来る人員配置もしております。	個別に買い物希望があれば、出かけることができるように支援し、外で過ごすことが日常にもてるようにしている。事業所周辺は急な坂道が多く、外出は車で出かけることが多い。外出は1~2人の少人数で出かけることが多い。急な外出の申し出にも速やかに対応できるように事業所全体で外出支援を行うようにしている。 年2回は外出行事を企画し大人数で外で過ごす機会を持っている。	

自己	者 第 三	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご利用者様の状況に合わせて金銭管理をさせて頂いております。お買い物時には、ご自身で会計をして頂くなどの支援をしております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	各フロアーに電話を設置しており、ご希望によりお電話をして頂く支援をしております。手紙のやり取り等もして頂けるよう柔軟に支援させていただいております。		
52	(23)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	建物内の湿度、温度調節に気を配り、季節感のある作品を展示し、居心地の良い空間となるように支援させて頂いております。ご利用者様のレクリエーション写真を展示するなど、雰囲気づくりを心掛けております。また、玄関には、季節毎に花壇を整備し、入居者様にも水やり等、手伝って頂いている。	玄関の花壇に季節の花を植え、立ち寄りやすい雰囲気である。明るく清潔な施設内全体は温度調節も整っている。開放的な共有空間は写真や作品で装飾を行い季節感が感じられる。調度品の配置を変更して安全面への配慮もされている。廊下はスロープや手すりを設置して、利用者の身体状況や認知状況により安全に過ごせるように整備されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人になれる場所をつくり、ご利用者様の状況に合わせた支援をさせて頂いております。また、ご要望があれば、席替えや模様替え等も行っております。安全面に配慮しながら、席にお花を飾る等、心が休まるような工夫もしている。		

自己	者 第 三	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(24)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前に使用していた物や使い慣れた物を持って来て頂き、ご利用者様・ご家族様と相談しながら、居心地の良い空間作りを心掛けております。また、安全面も考慮し、居室のレイアウトもご利用者様、ご家族様と都度、相談するようにしている。	家族と相談しながら使い慣れた物の持ち込みを働きかけ、利用前の生活との違和感を感じさせないように配慮し、安心して居心地よく過ごせるよう支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	スロープや手すりなどを設置し、自立した生活が出来るように支援しております。また、目印や張り紙等にて表記し、ご自身で判断出来るように対応しております。	/	/